



鎌倉日和® Vol.8

発行日：2016年春
編集 / 将星国際特許事務所

つばやき～事務所にて～

鎌倉もいよいよ春を迎えました。段葛の改修が終わり、3月30日にお披露目となりました。鎌倉の真ん中を走るシンボル、段葛が新しくなったことで、市内もますます活気づくこと楽しみです。今月も、商標でブランドをしっかりと守っている皆さんをご紹介します。

鎌倉ブランドのお客様・その①

鎌倉散策をしながらの食べ歩きにおすすめ！

豚まんじゅう専門店 **鎌倉点心**

鎌倉駅から小町通りを歩いて
鶴ヶ丘八幡宮に近付くと右手に
大きな石の豚の置物がお出迎えます

平成12年11月11日にオープンしました
豚まんじゅう専門舗です

一番人気は豚まんです
群馬県産上州豚を角切りにして色々な野菜、
うずらの玉子も一緒に包んで
ボリュームたっぷり
思わず笑顔がこぼれる美味しさです。

その他、美味しい上州豚を
粗挽きしたり角煮にしたり
名産のしらすを使ったり
様々な食感や味をお楽しみいただけるように
メニューも豊富にご用意いたしております。

これから暑い季節限定の
鎌倉ビールの生ビールや
柚子のソフトクリーム、
冷やし甘酒も人気です。

賑やかな小町通りで気楽に入れて
ほっと一息つけるような開放感。

ぜひ一度足をお運び下さい。



鎌倉点心

神奈川県鎌倉市雪ノ下1-8-14
小町通り 八幡宮そば
Tel : 0467-61-1601 年中無休



知的財産だより

～知財総合支援窓口知財専門家に就任～

4月より、「知財総合支援窓口」の知財専門家を務めさせていただくことになりました。「知財総合支援窓口」は特許庁が設置する相談窓口で、「地方創世」を目指す政府方針から、地域中小企業支援施策の最重要施策として位置づけられています。知財専門家は、日本弁理士会が地域での活動実績から弁理士を推薦し、特許庁より任命されますが、神奈川県の商品登録専門家として推薦されるのは僅か1名。身に余る大役ですが、地域中小企業の支援に止まらず、神奈川県、ひいては日本の発展につながるよう全力を尽くして参りたいと思います。

所長弁理士 渡部 仁

鎌倉ブランドのお客様・その②

「能楽」は、日本で一番始めに登録された、
ユネスコの世界無形文化遺産です。



●日本の歴史とともに

公益財団法人鎌倉能舞台は、「能楽」などの伝統芸能の普及・振興を目的に、昭和45年に設立されました。

能楽の歴史は古く、奈良時代に大陸から渡ってきた芸能散楽＝猿楽を、南北朝時代、足利將軍の支援を受けた、観阿弥・世阿弥の親子が、優美な舞台芸術にまで高めたものが「能楽」です。



●「知る」とは「本物に触れる」こと



鎌倉能舞台では、能楽に広く触れる機会を持って頂くために「能を知る会®」を主催しています。

「能を知る会®」はポピュラーな演目に解説を付け、誰でも分かり易く気楽に鑑賞できるよう、工夫をこらした演出となっており、鎌倉・

東京・横浜公演を定期的に開催しています。特に鎌倉の舞台は客席との距離が非常に近いため、臨場感あふれる能舞台をお楽しみ頂けます。



●機会をもっと身近に、もっと親しみやすく

他にも能楽の振興のために、様々な活動を行っています。次世代の子供たちに向けた鑑賞教室は、鎌倉市内の全ての小学校で実施しています。



また「能楽博物館」がオープンし、能舞台と能面・能装束の展示などをご覧になれます。まずはこちらから、能の世界に触れてみるのも良いかもしれませんね。

平成28年初夏の「能を知る会®」

平成28年5月3日(火・祝)

会場：鎌倉能舞台

- ・解説「日本刀とのふれあい」本阿彌 光蓮
- ・狂言「成上り」山本 則孝
- ・能「小鍛冶」中森 貫太

平成28年6月9日(木)

会場：鎌倉能舞台

- ・講演「浮遊する女の魂」小林 健二
- ・狂言「蚊相撲」高野 和憲
- ・能「浮舟」中森 貫太

平成28年6月19日(日)

会場：国立能楽堂

- ・解説「都と紀ノ國 -執念の炎-」葛西 聖司
- ・狂言「鍋八撥」野村 万作
- ・能「道成寺赤頭」中森 貫太／野村 萬斎

詳しくは<http://www.nohbutai.com>をご覧ください



公益財団法人 鎌倉能舞台

神奈川県鎌倉市長谷3-5-13
TEL/FAX 0467-22-5557

能楽博物館

不定休・入場料:大人500円
子供・団体300円

